



遠州灘福田港出船
周年アカムツ一筋の船長がご案内
遠州灘福田沖は梅雨時も絶好調

撮影●本誌編集部

★当日は強風予報で釣り場が限られたうえ濁り潮に見舞われたが、それでも25~35センチ級がトップ5尾と福田沖のポテンシャルの高さは相当なもの(写真は地元の松井さん)



▲投入は仕掛けを吹き流し、オモリを放りオマツリ軽減



▲当日は皆さん置き竿釣法で、竿は軟らかな胴調子タイプを使っていた
◀この日は水深180~300メートルと広範囲を探った
▶ハリの掛かり所がよければ抜き上げてもいいが、慣れない人はタモを頼もう



▲菅沼さんは福德丸に毎週のように通い詰めるファン第一人



▲▼エサはホタルイカの1杯掛け、縫い刺しにするとイカが外れにくい



▲標準仕掛けは胴つき3本バリ、オモリ250号



▶寺田船長のアカムツ仕掛け例。販売はしていないが、希望すればその日の潮具合に合ったアピールアイテムが付いた枝を分けてくれる



福田丸常連さんの仕掛け再現

◎当日は濁り潮対策で皆さんアピール力の強い夜光のフロートパイプやタコベイト、マッシュマロボールをハリのチモトに付けていた。



▲5尾でトップの松本さんの仕掛けは夜光フロートパイプが10センチほど長め



▲菅沼さんは夜光フロートパイプとタコベイトの2タイプを使用



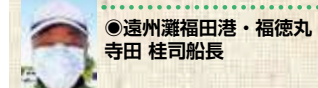
▲5尾でトップタイの松井さんは、アピールアイテムの色味は暖色と寒色を交互に配置するのが基本とのこと



▲船着き場のすぐ前に駐車スペースがある。東名高速・袋井ICより15分ほど

のいいアカムツで、良日はトップでツ抜けも珍しくないという。東海・中部はもとより関西、関東からもファンが集まる同宿は6人限定乗合。釣行日を決めたら予約はお早めに!
(詳細は56ページ参照)

中深海の人気魚アカムツが周年釣れる西の大場所といえば遠州灘福田沖。当地でアカムツ一筋で出船する福德丸は、胴つき3本バリにオモリ250号の仕掛けを使うスタイル。釣り場は港から航程1時間半圏内で、水深150メートル前後の浅場から水深350メートル前後の深場までを状況で攻め分ける。
エサが豊富なのだろう、釣れるのは25~40センチ級の肉付き



◎遠州灘福田港・福德丸 寺田 桂司船長